

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	胃がんリスク検査				事業番号	011-189	
担当部署名	健康福祉局	局	健康部	部	健康推進課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(1)健康で長生きできる都市の実現
			有	取組の方向性	②生活習慣病の発症予防・重症化の予防		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs未来都市計画 2021-2025	施策との関連	有・無	現状値	—	目標値	—
			有	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.8
		寄与するKPI	有・無	取組	検診や予防接種の受診体制の整備		
			有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	さかい健康プラン		
3	事業開始年度	平成 28 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	がん対策基本法、堺市がん対策推進条例、堺市胃がんリスク検査の実施に関する要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	35歳～49歳の市民（1回限り）				対象数	単位
						44,680	人
7	事業の目的	胃がん予防意識の向上を図り、将来的な胃がんによる死亡者の減少を実現する。					
8	事業内容	・検査内容 問診 血液検査（ヘリコバクター・ピロリ抗体検査によるピロリ菌の有無、ペプシノゲン検査による胃の萎縮度の判定） ・受診方法 検診実施協力医療機関における個別検診。 受診希望者は検診実施協力医療機関に直接申し込む。 胃がんリスク検査は、胃・肺・大腸がん検診、又は堺市国民健康保険特定健康診査と同時受診となる。 ・検査の結果により、要精密検査となった方には精密検査を案内している。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容						
9	主な支出先	一般社団法人堺市医師会					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標		単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
11	悪性新生物（胃がん）の死亡率（人口10万人対）	－	目標値	32.0	32.0	32.8	32.8
			実績値	33.2	集計中		
			達成率	96%	—		
	当該指標を選定した理由		胃がんによる死亡者を減らすという本事業の目的と合致するため。				
目標値の設定根拠・算出方法		過去3年間の平均値(R4-R6)から悪化させないという観点で設定。					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	胃がんリスク検査受診者数	人	目標値	1,775	1,651	1,440	
			実績値	1,651	1,440		
			達成率	93%	87%		
当該指標を選定した理由		検査受診によって、胃がんリスクを軽減させることが、将来的な胃がんによる死亡者の減少につながるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		前年度実績値					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名		胃がんリスク検査				事業番号		011-189									
Ⅲ. 投入量																	
事業コスト																	
※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）																	
項 目		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度									
		決算		決算		当初予算		当初予算									
事業費（a）		9,492		9,086		10,838		7,728									
13	財 源 内 訳	国支出金		0		0		0									
		府支出金		0		0		0									
		市債		0		0		0									
		その他（ ）		0		0		0									
		受益者負担金(使用料、手数料等)		0		0		0									
		一般財源		9,492		9,086		10,838		7,728							
14 人件費（b）		810		810		840		840									
15 年間経費（c）=(a)+(b)		10,302		9,896		11,678		8,568									
事業費の内訳																	
（単位：千円）																	
16	事 業 費 内 訳	項 目		年度		事業費		うち 一般財源		項 目		年度		事業費		うち 一般財源	
		胃がんリスク検査		R7	決算	7,539	7,539			R7	決算						
				R8	予算	11,088	11,088			R8	予算						
		印刷製本費		R7	決算	133	133			R7	決算						
				R8	予算	150	150			R8	予算						
		通信運搬費		R7	決算	33	33			R7	決算						
				R8	予算	33	33			R8	予算						
		手数料		R7	決算	23	23			R7	決算						
				R8	予算	50	50			R8	予算						
				R7	決算					R7	決算						
				R8	予算					R8	予算						
				R7	決算					R7	決算						
				R8	予算					R8	予算						
		Ⅳ. 事業の効率性															
単位当たり経費																	
17	区 分		単位		令和6年度		令和7年度										
	① 受診者数		人		1,651		1,440										
	② 上記①にかかる年間経費		千円		9,896		8,568										
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）		円/単位		5,994		5,950										
	算出についての説明等																
Ⅴ. 評価																	
費用対効果に係る所見																	
18 令和2年度より、40歳～49歳の間に1回から、35歳～49歳の間に1回と対象年齢を拡充、自己負担金を無償化した。令和3年度までは受診者が増加したが、対象となる年齢の間に1回限りということもあり、令和4年度～令和6年度は受診者数が減少した。費用対効果の観点から、新たに対象となる方、また対象で未受診の方への胃がんリスク検査の周知や、がんに関する正しい知識の普及など、積極的な啓発活動が必要である。																	
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）																	
19 身近な医療機関での検査を可能にすることで、検査を希望する市民の受診環境を整えることができる。 また、全国的に部位別のがん死亡数（2024年）では胃がんが男性で第3位、女性で第5位となっていることから、対象市民の胃がん予防意識を高め、将来的な胃がんの早期発見・早期治療につなげることで、堺市基本計画2025の「健康で長生きできる都市の実現」やさかい健康プランの「個人の行動と健康状態の改善」に寄与したと考える。 今後も、ICT（SNS等）や企業連携等を活用した多種多様な手法で、啓発や受診勧奨を実施し、胃がんリスク検査の周知や正しい知識の普及を行うなど、受診者数の増加に向けて取り組む。																	
令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）																	
20 必要性 ■ 高い □ 低い 有効性 ■ 高い □ 低い 胃がんは主要ながんの一つであり、胃がんの予防意識の向上及び早期発見につなげる観点から、本事業は対象者の健康意識の向上や受診行動の促進に寄与することが期待できる。																	